



意思決定への非専門家参加の倫理的重要性

—都市計画や科学・技術、政策実践の公正かつ民主的な方向づけ—

都市経営学部都市経営学科 准教授 山本 千寛

キーワード

非専門家参加、専門職倫理、技術者倫理、公正性、民主的意思決定

該当するSDGs

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



1 研究内容

日常生活や都市のあり方、そして科学・技術とともにある社会を、人びとにとって望ましい未来の姿へと民主的に方向づけていく手がかりを、社会思想史や近現代の具体的事例のうちに探っています。

- (1) 日常生活や都市のあり方をめぐる思想研究
都市に住まう誰にでも「(都市での)生活をもっとこんな風に変えたい！」という訴えや要請を表明する権利(都市への権利)があると提起したフランスの思想家アンリ・ルフェーヴルの思想を中心に、社会思想や都市思想の研究にとり組んでいます。
- (2) 科学・技術とともにある社会を公正かつ民主的に方向づけていくための学際的研究
セルフビルドをはじめとする非専門家の技術実践と、そうした実践への「専門家参加」の研究、専門職倫理の検討のほか、戦時の(建築家を中心とした)技術者の動員なども研究しています。

2 連携可能性のある研究分野、又は、これまでの連携実績

連携可能性のある研究分野

- ・都市計画や科学・技術、政策実践の公正さや民主的な方向づけをめぐる実践的あるいは倫理的な議論
- ・特定専門職の倫理綱領をめぐる文献調査や、専門職倫理や技術者倫理をめぐる共同インタビュー調査
- ・科学・技術と社会の関係や、科学・技術が社会生活に与える影響にかんする歴史的な経緯や事例の研究
- ・上述のテーマに関連する審議や審査、提言(協議会・委員会の委員や、企業内倫理審査の外部委員など)
- ・上述のテーマに関連する市民対話などでの話題提供やファシリテーター

これまでの連携実績

- ・都市空間のあり方と芸術の関係をめぐる対話イベントでの話題提供と鼎談
(ラボカフェ/鉄道芸術祭 vol.10、京阪電車なにわ橋駅アートエリア B1)
- ・台風に介入する技術とその実現をめぐる市民対話のファシリテーター (鹿児島県肝属郡肝付町)